

# 環境支援チェックシート

部	年	組教室	児童生徒名 ( )	記入者 ( )
---	---	-----	-----------	---------

① 児童生徒の実態を踏まえて、重要な環境支援の項目だと考えた場合には、重要性の欄に「◎」を記入する。

② チェック欄に日付を記入して、4段階でチェックをする。

- ・・・児童生徒に必要な環境支援ができている
- △・・・児童生徒に必要な環境支援がやや不十分である
- ×・・・児童生徒に必要な環境支援できていない
- ／・・・児童生徒にこの項目は必要ない

② 記入後は、データ保存しておく。

\*環境支援チェックシートは1人1枚チェックする。(複数担任の場合は相談しながらチェックする。)

\*環境支援の実践報告書は各クラスで1枚作成する。

項目	環境支援	重要性	チェック		
			1学期 ( / )	2学期 ( / )	3学期 ( / )
1 安全と安心	安全	① 教室の棚や掲示物の整理がされており、危険なもの（はさみなど）が身近なところがない			
		② 誤飲の危険性があるものは、必要の無い時には収納されており、個数を管理している			
		③ 児童生徒の様子が見え、教室全体を把握できる（教員の死角となるスペースが無い）			
		④ 車椅子や歩行器で移動できる十分なスペースがある			
		⑤ 車椅子から降りた後の車いすの置き場、テーブルを外した後の置き場が決まっている（他者の動線確保）			
		⑥ 高い所に重たい物を置いていない、触れる可能性のある棚などの角にクッションを付けている			
		⑦ 災害時に避難経路となる入口や窓の近くに物が無い			
		⑧ 移動時以外は、車椅子のブレーキをかけている			
		⑨ 移動時や、身体に触れるときは言葉かけをしている			
		⑩ 教員は安全な服装で指導にあたっている（爪を切り、時計を外し、前開きの服は閉じている）			

衛生・体調管理	① 教室の温度・湿度が適切に管理され、体温を調整する道具が準備されている					
	② 歯ブラシやスプーンなどは個別のスペースを設けて管理している					
	③ 教員はマスクを着用し、1時間に1回以上換気をする (感染症の流行時期、易感染症の児童生徒の担任など)					
2 生活	時間・空間の認識	① 1日の流れが視覚的に提示してある				
		② 役割やルールがわかりやすく提示してある				
		③ 児童生徒が自分の教室であることを認識しやすい工夫がある(顔写真・言葉かけ・教室の香り付けなど)				
		④ 外の景色や天気を確認しやすく、教室に季節を感じる掲示物がある				
	刺激の調整	⑤ 刺激が少なく、静かで落ち着く工夫がされている(照明を不織布で覆う、椅子の足にカバーを付けるなど)				
		⑥ 気持ちを落ち着かせたり、切り替えたりできる場所や方法が準備されている				
		⑦ 摂食指導の際に、飲食物や支援者に集中できる				
	生活の継続と選択	⑧ 楽な姿勢で休憩できるスペースが確保されている				
		⑨ 着替えなどの際に、他者から見えない工夫がある				
		⑩ 家庭での生活環境や卒業後の社会の生活につながる工夫がされている(生活動線を意識した物の配置)				
		⑪ 自分で行動(トイレなど)を選択できる環境支援がある				
3 授業	集中	① 授業の内容や流れ、活動の始まりや終わりがわかる				
		② 児童生徒の間隔が適度に保たれており、必要に応じてパーティションで区切るなどしている				
		③ 教員の立ち位置や声の大きさが、児童生徒の集中をさまたげないような工夫がされている				
	板書	④ 板書に集中できるよう教室の前面に不要な掲示物をなくしている				
		⑤ 板書がわかりやすい(見えやすい距離や高さ・文字の大きさ・間隔・色・学習ポイント・電子黒)				

	板の活用など)				
	⑥ 板書とノート（ワークシート）が連動している				
	⑦ 授業の学習内容を明確にしている（頑張るポイントを体験的に伝える・「めあて」「まとめ」を赤で囲むなど）				
発問・指示	⑧ 児童生徒の実態に応じた提示方法をしている（一つずつ順番に提示し、同時に複数提示しない）				
	⑨ 教員の方に注目させてから発問・指示を出している（ゆっくり短い言葉で具体的な発問・指示）				
	⑩ 児童生徒が得意な感覚を活用して、発問や指示がわかるような支援を用いている				
	⑪ 発問や指示に対して、応える方法が準備されている				
能力の発揮（教材・姿勢）	⑫ 活動の目的に適した姿勢を選択し、児童生徒の力を引き出す支援を行っている（体位変換、見えやすい位置からの関わり・わかりやすい感覚を活用した支援）				
	⑬ 腕や足、腰の位置を安定させ、楽な呼吸をうながしている				
	⑭ 実態に適した教材教具を用いている（クッション、ICT 機器、興味のある物、扱いやすく安全な物など）				
	⑮ 考える時間、動き出すまでの時間を十分に設けている				
学習形態（自己選択・交流など）	⑯ 授業中に選択する場面が設けられて、選びやすい方法が工夫されている				
	⑰ 内容に応じた学習形態を取り入れている（グループワークなど）				
	⑱ 体験的な内容を設定している（身体を動かす・具体物に触れたり匂ったりするなど）				
	⑲ 児童生徒同士で協力し合う場面や、他者から評価される場面を設けている				
	⑳ 体調や覚醒状態に配慮して、学習内容を複数準備している				

# 環境支援の実践報告書

部	年	組教室	児童生徒名	( )	記入者	( )
---	---	-----	-------	-----	-----	-----

実践した項目	記入例 : 1 - ①
< 実践前 : 令和 年 月 日 >	< 実践後 : 令和 年 月 日 >
<p style="text-align: center; background-color: #ffff00; padding: 5px;">写真を貼り付ける (写真がなければ、 下の説明のみ書く)</p>	
<p style="text-align: center; background-color: #ffff00; padding: 5px;">写真を貼り付ける (写真がなければ、 下の説明のみ書く)</p>	<p style="text-align: center; background-color: #ffff00; padding: 5px;">写真を貼り付ける (写真がなければ、 下の説明のみ書く)</p>
<p style="text-align: center; background-color: #ffff00; padding: 5px;">上の欄に貼り付けた写真についての説明を記入する 記入例 : ○○が棚の上の高い位置に置いてあり危ない。</p>	<p style="text-align: center; background-color: #ffff00; padding: 5px;">上の欄に貼り付けた写真についての説明を記入する 記入例 : ○○を見えない場所に収納した。</p>
< 環境の改善ポイント・児童生徒の変化など >	
<p>記入例 : 興味を示したものにすぐに手を伸ばして、引っ張ることがある児童で、○○の横を通る際に手を伸ばすことが何度かあった。高い位置にあった○○を、見えないところに収納することで、棚の上から物が落ちることが無くなった。</p>	
< 今後の取組について >	
<p>記入例 : 棚の上の物は落ちることが無くなったが、棚の中の物に手を伸ばすこともあるので、取り出す必要の無い時には、布で覆って隠すようにしていきたい。</p>	